



綿ニットでできた防草シート「お墨付き」

ニット生地製造販売業。綿ニットでできた防草シート「お墨付き」を製造販売する。衣料用ニットの3倍の糸量で編み、高密度と厚みを持たせた。同時に、日光の遮蔽性を高めるべく、シート裏面にカーボンブラック、防草性を高めるべく、木酢液を含浸させた。公共工事用途、園芸用途の他、多方面での採用を目指す。

業況等の動向について

本業の動向について

撚糸、ワインダー、丸編みニット生地製造販売を主業とする。業況はやや不調である。大震災による買い控え、タイの洪水によるカーシートの受注減による。

参入事業の概要

綿ニットでできた防草シート「お墨付き」を製造販売する。衣料用ニットの3倍の糸量で編み、高密度と厚みを持たせた。同時に、日光の遮蔽性を高めるべく、シート裏面にカーボンブラックを含浸させた。また、防草性を高めるため、木酢液を塗布した。シート表面の色合いは、7色のアースカラーから選択でき、ランダムな色彩も提供できる。景観と調和させるため。

防草を目的としたものは、合繊不織布製、リサイクル瓦製と、多品種販売されている。当社の防草シートは、天然由来の原材料を使っており、生分解できる。使用後の廃棄コスト、環境負荷が小さい。

参入事業の売上は、まだ小さい。石川県土木部の「石川県建設新技術認定・活用制度」に、2011年12月採用された。これを契機に石川県内の公共工事での採用を期待したい。全国展開するには、国土交通省「NETIS(新技術情報提供システム)」の認定が有効であると考えている。手続きをとっているが、認定まで時間を要している。(足掛け3年)

異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

新興国の台頭により、危機感を持った。

参入して最も成果のあったこと

成果としては2011年12月、石川県土木部の「建設新技術認定・活用制度」に採用されたこと。最終製品を手掛けることで、価格決定権をもつことができたこと。

参入して最も困難だったこと

困難だったことは土木業界の知識がなかったこと。知名度がなかったこと。国土交通省の「NETIS」認定が取れないこと。

参入に際して活用した自社の技術・ノウハウについて

実用新案 3152626 婦人衣料やカーシートにない厚み、

密度を持たせた。

今後の展望・見通し

今後、拡大方針をとる予定である。石川県土木部の認定が得られ、まずは、石川県内の受注を目指す。今まで、公共工事向けを主としていたが、今後は、園芸業者向けに販売を開始したい。そのため、新たなプリント柄を開発中である。他方面でも販売攻勢をかけたい。

メリット・デメリット

メリットは衣料関連からジオテキスタイルまで、取り扱うアイテムが拡大したこと。

デメリットとしては、委託加工をお願いしている。自社販売であり、原系や染め工賃の買い入れ金額が重荷となること。

異業種参入時のアドバイス

行政は新製品をなかなか取り入れてくれないので、気長なアプローチが必要と思われる。

行政の支援について

異業種参入に際し、役に立った行政、支援機関の制度

中部経済産業局から改良資金の2/3が助成された。金沢ブランドや石川ブランドの認定による、設備投資などの制度融資が受けられた。

異業種参入に際し、行政に対して望む支援

ブランド認定を多数もらった。認定当時の支援と1~2年後の支援との温度差がある。行政による積極的な商品活用を望む。

会社概要

設立:1968年(昭和43年)

資本金:1,000万円

従業員数:7名

URL:<http://yagiseni.co.jp>